

FATHOM

MULTI-FUNCTION REVERB



Fathomは多機能なリバーブで四種類のリバーブアルゴリズムから選択できます。小気味よいルームリバーブからモジュレーションを伴った神秘的なロングディレイまで。Hall、Plate、Lo-Fi、Sonarの四種類のメインアルゴリズムを備え、FATHOMはディレイの世界水準をカバーします。Hallアルゴリズムはオープンかつ広大で、ディレイは高域のロールオフでただらかに減衰します。Plateモードはスムーズなディレイを持つ迫力あるリバーブです。Lo-FiはフィルターリバーブでディレイはウォームなものからチープなAMラジオ風まで多彩です。Sonarは上下オクターブを伴ったリバーブでXノブを使ってオクターブをブレンドできます。スマートバイパススイッチやサステインモード備えFathomは終わることのない創造性を刺激します。

9V JACK
9-volt DC, Center Negative, 100ma min.

DECAY
リバーブの長さをコントロールします。

X
このXノブは各アルゴリズムに応じて機能が変わります。各アルゴリズムの特定パラメータを調整します。

Hall - pre-delay
Plate - pre-delay
Lo-Fi - Filter width
Sonar - ロー・ハイオクターブのブレンド。
下記参照

MOD
トグルノブでロー、ミッド、ハイモジュレーションを選択。Sonarモードではローの位置でモジュレーションを切ります。

BYPASS LED
エフェクトオン時に点灯します。

BYPASS SWITCH
エフェクトのオン・オフを行います。スマートバイパススイッチ(下記参照)も行います。

SONAR MODE

ロー・ハイオクターブをブレンドしてユニークなトーンをクリエイトできます。Xノブを使ってオクターブをブレンドできます。12時の位置でロー・ハイオクターブの割合が同じになります。ローオクターブを増やす時はノブを左に、ハイオクターブは右に回してください。

OUTPUT JACK
1/4インチケーブルでアンプに接続します。

INPUT JACK
1/4インチケーブルでギター(楽器)に接続します。

DAMPEN
ディレイのトーンをコントロールします。時計回りにすればリバーブのディレイがダークになります。反時計回りではフィルターが開きディレイがブライトになります。

MIX
ドライ/ウェットの調整。時計回りでリバーブが増えます。2時の位置のラインでドライ/リバーブの割合が同じになります。

PROGRAM
リバーブアルゴリズムを選択します。
Hall - オープンかつ広大なディレイは高域のロールオフでただらかに減衰します。

Plate - スムーズなディレイを持つ迫力あるリバーブです。

Lo-Fi - フィルターリバーブでディレイはウォームなものからチープなAMラジオ風まで多彩です。

Sonar - 上下オクターブを伴ったリバーブでXノブを使ってオクターブをブレンドできます。

SUSTAIN SWITCH
ペダルがオンの時に押してホールドすればその間リバーブディレイが継続し、ドリーミーでアンビエントなデクレーションを演出。

MOMENTARY FUNCTIONS

BYPASS SWITCH
スイッチオフの状態からスイッチを押してホールドしている間のみリバーブがかかります。スイッチを離すとエフェクトオフになります。

TRAILS MODE



Fathomはトレイルまたは非トレイルモードに設定できます。トレイルモードではエフェクトオフ時にディレイ音が自然に減衰していきます。一方非トレイルモードではエフェクトオフ時に瞬時にディレイをカットします。モードを切り替える方法は、ペダルに電源を入れる際にバイパススイッチを2秒以上ホールドしてください。電源を抜き、同様の手順を行えばもう一つのモードに切り替わります。

取扱説明書

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- 使用開始前に、安全ため下記の説明をよくお読みください。
- お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。

-  **警告:** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
-  **注意:** 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

警告

1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。
2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。

注意

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などでけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本危機を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。